



DNT 大日本塗料株式会社

●東日本販売部

東京営業所 ☎03-5710-4501 ☎144-0052 東京都大田区蒲田5-13-23 (TOKYU REIT 蒲田ビル)
札幌営業所 ☎011-822-1661 ☎003-0012 札幌市白石区中央二条1-5-1
仙台営業所 ☎022-236-1020 ☎983-0034 仙台市宮城野区扇町5-6-20
北関東営業所 ☎0285-24-0123 ☎323-0025 小山市城山町2-10-14 (日光堂ビル)
埼玉営業所 ☎048-601-0711 ☎330-0843 さいたま市大宮区吉敷町4-261-1 (キャピタルビル)
新潟営業所 ☎025-244-7890 ☎950-0912 新潟市中央区南笹口1-1-54 (日生南笹口ビル)
千葉営業所 ☎043-225-1721 ☎260-0015 千葉市中央区富士見2-7-5 (富士見ハynesビル)
神奈川営業所 ☎042-786-1831 ☎252-0233 神奈川県相模原市中央区龜沼台1-7-7 (トラス・テック相模原ビル)
静岡営業所 ☎054-254-5341 ☎420-0857 静岡市葵区御幸町8 (静岡三菱ビル)

●西日本販売部

大阪営業所 ☎06-6266-3116 ☎542-0081 大阪市中央区南船場1-18-11 (SRビル長堀)
名古屋営業所 ☎052-332-1701 ☎460-0022 名古屋市中区金山1-12-14 (金山総合ビル)
富山営業所 ☎076-444-5260 ☎930-0005 富山県富山市新桜町6-15 (Toyama Sakuraビル)
京滋営業所 ☎075-595-7761 ☎607-8085 京都市山科区竹鼻堂ノ前町46-1 (ECS京都山科ビル)
神戸営業所 ☎078-362-0091 ☎650-0025 神戸市中央区相生町1-2-1 (東成ビル)
岡山営業所 ☎086-214-1852 ☎700-0034 岡山市北区高柳東町10-30
広島営業所 ☎082-286-2811 ☎732-0802 広島市南区大州3-4-1
高松営業所 ☎087-869-2585 ☎761-8075 高松市多肥下町1511-1 (サンフラワー通り東ビル1)
福岡営業所 ☎092-938-8222 ☎811-2317 福岡県糟屋郡粕屋町長者原東3-10-5
長崎営業所 ☎095-824-3457 ☎850-0033 長崎市万才町3-4 (長崎ビル)

塗料相談室 フリーコール 0120-98-1716 ^{いーえい} <https://www.dnt.co.jp/>

厚膜形焼付用エポキシ変性ポリエステル樹脂下塗塗料

METALKONG PRIMER GP

メタルコングプライマー-GP

厚膜形焼付用エポキシ変性ポリエステル樹脂下塗塗料

メタルコング プライマー GP

各種素材、各種上塗りに対応できる 厚膜形マルチプライマー

「メタルコングプライマーGP」は密着性はもちろんのこと、塗膜性能および作業性についても優れています。また、速乾性に優れ、各種塗料とのウエットオンウエットが可能です。

一液性

厚膜塗装が可能

1コート60μm

幅広い素材に密着

鉄・非鉄金属を含む各種金属素材に対応

各種上塗りが対応可能

W/W塗装可能

容量	色相
16kg	ホワイト・ライトグレー・ブラック (N7.5相当) (N2.5～N3相当)

適用素材	
冷間圧延鋼板	ステンレス430
溶融亜鉛めっき鋼板	アルミニウム1000番台
電気亜鉛めっき鋼板	アルミニウム5000番台
ステンレス304	アルミニウム6000番台

- アルミニウム6000番台に関しては、1000番台と5000番台に比べて二次付着が劣るため、事前に密着確認が必要です。
- 粉体の下塗りとして使用する場合、上塗乾燥条件と同等以上の焼付温度・焼付時間で焼付した後に使用して下さい。
- 溶融亜鉛めっき鋼板は、Z27相当で付着性を確認。
- どぶ漬け亜鉛めっきへの使用は推奨しません。
- 被塗物表面の異物を完全に除去し、素地調整を十分に実施して下さい。
- 塗装ラインで事前に作業性、付着性を確認して下さい。
- 表面処理を実施して下さい。

※1 デリコンLB#90は適用できません。

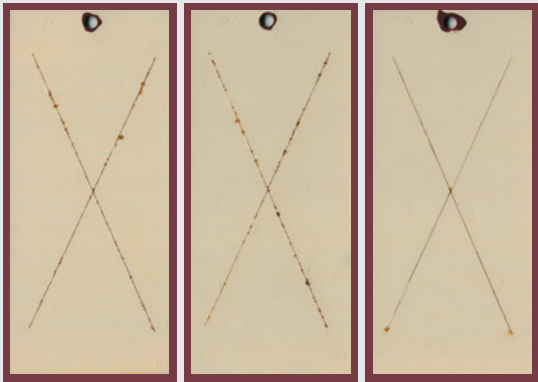
塗料性状

項 目	内 容
容量	16kg
色相	ホワイト・ライトグレー・ブラック
密度(20℃)	1.41
粘度(25℃ストーマー)	67KU
加熱残分	60%
標準焼付条件	150℃×20分 ※使用上のポイント参照
標準膜厚	20～60μm
貯蔵期間(20℃)	6ヶ月

※上記 塗料性状値は標準値であり、色・ロットにより若干の変動があります。

耐中性塩水噴霧試験 240時間 (標準塗装仕様による性能)

試験板写真
(はく離前)



下塗膜厚	20μm	40μm	60μm
さび幅(mm)	1.5	1	0.5
膨れ幅(mm)	1.5	1	0.5
はく離幅(mm)	2	1.5	0

適用上塗塗料例※1

メラミン系	アクリル系
デリコン	NEWアクローゼ
一液ウレタン	粉体
Vクロマ	V-PET#4000・4500系

関連法規

危険物表示	第4類第2石油類
有機溶剤区分	第2種有機溶剤含有物
有害物質表示	SDS参照

塗膜性能 (標準塗装仕様による性能)

項 目		試験方法		性能	備考
鏡面光沢度		60度鏡面反射率		85以上	JIS K 5600-4-7
耐おもり落下性		デュボン式		20cm異常なし	JIS K 5600-5-3
引っかき硬度(鉛筆法)		鉛筆硬度 三菱鉛筆ユニ		2H以上	JIS K 5600-5-4
付着性(クロスカット法)		1mm間隔		分類 1 以下	JIS K 5600-5-6
耐液体性 (一般的方法) 浸せき法	耐アルカリ性	5%炭酸ソーダ	40℃	48時間異常なし	JIS K 5600-6-1
	耐酸性	5%硫酸	23℃	48時間異常なし	
	耐揮発油性	試験用揮発油2号	23℃	24時間異常なし	
耐液体性(水浸せき法)		2級 純水	40℃	120時間	JIS K 5600-6-2
耐中性塩水噴霧性		5%食塩水噴霧	35℃	240時間異常なし	JIS K 5600-7-1
耐湿性(連続結露法)		回転式 95%RH以上	50℃	240時間異常なし	JIS K 5600-7-2
促進耐候性(SWOM)		600時間		著しい変化なし	JIS K 5600-7-7

供試塗板 試験片は、SPCC(0.8×70×150mm)の鋼板にりん酸亜鉛化成皮膜処理をし、標準塗装仕様に従い規定膜厚に吹付け塗装後、各焼付条件で乾燥。

焼付許容範囲 (メタルコングプライマーGP)

200℃														
190℃														
180℃														
170℃														
160℃														
150℃														
140℃														
130℃														
120℃														
110℃														
100℃														
温度 時間	10分		20分		30分		40分		50分		60分			

●SPCC(0.8×70×150mm)リン酸亜鉛処理鋼板

標準塗装仕様

工 程	作業内容	備 考
前処理	脱脂および化成皮膜処理を行う。	—
下塗塗装	メタルコングプライマーGPをデリコンシンナーで希釈し、エアースプレー又は静電塗装を行う。 標準膜厚:20～60μm	塗装粘度 秒／20℃(岩田カップNK2) エアースプレー：15～30 静電塗装：15～30
セッティング	5～10分 ^{注1}	—
上塗塗装	NEWアクローゼをDNT焼付用ECOシンナーで希釈し、エアースプレー又は静電塗装を行う。 標準膜厚:20～30μm	塗装粘度 秒／20℃(岩田カップNK2) エアースプレー：15～30 静電塗装：15～25
セッティング	10～20分 ^{注1}	—
焼付	150℃×20分(被塗物表面温度)	—

- 化成皮膜処理は素材専用の処理を行って下さい。
- 表面処理基準は処理剤メーカーの仕様および管理基準に従って実施して下さい。
- 色相がN8、5以上淡彩系の場合は上塗りの指定色の膜厚を45μm以上にして下さい。
- 塗装回数および膜厚は施工環境の状態により増減します。

- 焼付条件は被塗物の形状、大きさによって多少の変動があります。
- 焼付温度は素材温度で管理して下さい。
- 焼付許容温度は「焼付許容範囲」をご参照下さい。

注1) 下塗りを40μm以上塗装する場合はセッティング時間を十分に確保して下さい。

使用上の注意

●取り扱い上の注意

1. 火気のない局所排気装置を設けたところで使用して下さい。
2. 塗装中、乾燥中は換気をよくし、蒸気を吸込まないようにして下さい。
3. 取扱い中は、皮ふにふれないようにし、必要に応じて下記の保護具を着用して下さい。
有機ガス用防毒マスク又は送気マスク、頭巾、保護めがね、長袖の作業衣、えり巻きタオル、保護手袋等。
4. 取扱い後は、手洗い及びうがいを十分に行って下さい。
5. 塗料の付いたウエスや塗料カス、スプレーダストは廃棄するまで水につけておいて下さい。
6. よくフタをし、40℃以下の一定の場所で貯蔵して下さい。
7. 子供の手の届かないところに保管して下さい。
8. 捨てる時は、産業廃棄物として処分して下さい。
9. 本来の用途以外に使用しないで下さい。
10. 容器は垂直に持ち上げて下さい。斜めに持ち上げると取っ手が外れ、落下事故の危険があります。

●緊急時の処置

1. 火災時には炭酸ガス消火器、泡消火器又は粉末消火器を用いて下さい。
2. 目に入ったときには、多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。
3. 誤って飲み込んだときには、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。
4. 皮ふに付着した時には、多量の水で洗い落とし、痛みや皮ふに変化等がある場合には、医師の診察を受けて下さい。
5. 蒸気、ガス等を吸込んで気分が悪くなった時には、安静にし、医師の診察を受けて下さい。
6. 容器からこぼれた時には、布で拭きとり、その布を水の入った容器に保管して下さい。

※本カタログ値は、製品を適正にご使用頂くための代表値を記載したものです。
記載以外の条件で使用される場合は、事前に弊社にお問い合わせ下さい。
※本製品の内容は予告なく変更することがあります。